

第53回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミ	チーム名	歴史を刻め
タイトル	国内企業の海外進出		
テーマ群	e) 産業・企業		
メンバー	12131028 石立涼一 12131094 影山颯馬	12131096 勝股巧海 12131106 川村誠也	12131119 木村海晴 12131375 宮本直幸
研究計画内容	<p>研究背景</p> <p>我々が国内企業の海外進出について調べようと思った理由は2つあります。</p> <p>1つ目はグローバル経済の影響です。国際的なビジネスは世界経済に大きな影響を与えており、国内企業の海外進出が国際経済にどのように影響を及ぼすかを理解したいと考えたからです。2つ目は国内企業の成長と競争力において、海外進出がどれほど重要かについて学びたいと考えたからです。</p> <p>研究の内容</p> <p>日本企業が海外進出することは国際経済において重要なものであり、多くの研究者がその動向や影響を探求している。今回、日本企業の海外進出に関する研究に焦点を当て、いくつかの主要なテーマについて調べていく。</p> <p>まず第一に、日本企業の海外進出の動機について研究する。通常、企業は新しい市場へ進出し、競争力を高めるため、成長を実現し、リスク分散を目的としているが、国内企業が特定の地域や国を選び、どのような戦略を採用しているかを説明し、その背後にある要因を分析する。</p> <p>第二に、国内企業の海外進出が現地経済や雇用に与える影響について調査する。これは、現地での雇用創出や技術移転の影響、また地域社会への貢献などが含まれる。国内企業の進出が国内企業を受け入れた国の経済に与えるメリットとデメリットを調査する。国内企業の海外進出は戦略的な決定であり、豊富な機会と課題を伴う。</p> <p>期待されること</p> <p>国内企業の海外進出を調査することにより3つの期待される効果があります。</p> <p>1つ目は海外進出に関する研究は、国際ビジネスに関する理解を深め、異なる市場や文化に対する洞察を提供します。</p> <p>2つ目はグローバルな問題解決力の磨き：国内企業の国際展開に関する研究を通じて、グローバルな問題に対処する能力が向上し、実際の課題に対する解決策を模索できます。</p> <p>3つ目は社会的意識の醸成：国内企業の海外進出には社会的影響があるため、このテーマの調査は社会的意識を高める機会でもあります。</p> <p>これらの効果を通じて、国内企業の海外進出に関する研究は、知識、スキル、キャリアの発展、そして学問や社会への貢献に寄与することが期待されます。</p> <p>https://lifepepper.co.jp/abroad/reason-merit/</p>		